

平成 30 年度 各係における教育活動重点目標（中間評価）

本校の主要な係で、本年度取り組みたいものとして挙げられた重点目標です。それぞれの項目について、中間、最終の自己評価を行います。その評価を、学校評価員へ配布しますので、学校評価シートの評価にお役立てください。

1 教務係

今年度の重点目標	
①	生徒の学力向上を目指す
②	校務が円滑に行えるように計画・立案する。
③	生徒の出席状況の把握と先行指導
④	生徒の豊かな人格形成を助ける。
⑤	入試広報係と協力しての生徒募集活動

※評価【 [達成度] A：十分 B：おおむねよい C：不十分 】

重点目標	評価項目	評価の観点	中間評価	実施事項と今後の課題
①	授業アンケートを実施し、その結果を利用した授業改善への反映	授業評価を実施し、授業改善に努めたか。	A	各教科ともに1学期のアンケートをもとに2学期に望んでいる。
①②	教科シラバスによる計画的授業と定期考査の工夫	計画的な授業が展開でき、学習内容の定着が確認できたか。	A	内容の見直しはほぼ済んでいるが、生徒への反映の点で課題が残る。
①	年3回（3年は2回）の実力テスト（実力診断テスト・到達度テスト・スタディサポート）の結果を利用したスタディサポート・スタディサプリを含めた学習活動への反映	結果を基に生徒に適切な指導ができたか。適切な準備後処理が出来たか。	A	クラッシー・スタディサプリの長期休暇の課題を設け、教員の振り返り会も設定しながら生徒へ還元している。
①②	授業時数の確保	年間計画にのっとり授業時間が確保できたか。	A	急な変更もなく計画通りに進んでいる。
①②	試験時間割・監督の日程	計画的な試験対策勉強が出来る環境を作れたか。	A	計画通りに進行中
①②③	適切な年間計画の作成	年間の様々な行事を適切に配置し、生徒の豊かな人格形成の手助けとなったか。	A	計画通りに進行中
①②	学校自己評価	学校自己評価をとりまとめ、外部に公表できたか。		年度末に評価

②④	LHRの計画・設定	学年・クラス運営に効果的な計画・内容であったか。		年度末に評価
②	校内教研・テーマ学習会の立案・実施	研修結果が生徒指導に反映できるよう研修内容・講師選定・時間確保が出来たか。	A	校内教研を2回、テーマ学習会を3回計画。それぞれ計画通りに実施している。
③④	生徒の出席状況の把握と先行指導	毎日の出席状況や1/6、1/5オーバーした生徒を把握し、出席の改善が出来たか。	A	スクールマスターでデータ管理することで生徒の出席状況を把握しやすくなっている。朝会での報告と指導カルテの提出で意識の喚起と指導の確実性を見込んでいる。
②	各種奨学金を生徒に紹介し、奨学金の受給を広げる	一覧表の配布や説明会を実施し、奨学金を生徒に紹介できたか。	A	説明会を開催し速やかな手続きができるようにしている。
①④	生徒が西高手帳を有効的に利用できるように指導する。	記入の様子を把握する。タイムマネジメント手帳の有効利用講習会の実施等。	B	生徒への有効利用について研究する必要がある。
⑤	入試広報係と協力して入試業務を行う。	円滑に行えたか。(学校説明会・中学校訪問など)	A	計画どおりに実施している。

2 進路指導係

重点目標	今年度の目標
①	ガイダンスや講演会を通してキャリア教育の推進を図り、自己理解や職業観をもとにした主体的な進路選択を支援する。
②	多岐にわたる入試日程や方法に対応できるよう適宜進路情報を提供することにより、早い段階での進路意識の向上を図り、担任団の進路指導の援助を行う。
③	「大学入学共通テスト」「高校生のための学びの基礎診断」への情報収集を行い今後の対応について検討する。

※評価【〔達成度〕 A：十分 B：おおむねよい C：不十分】

重点目標	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題
①	三年間を見据えたキャリア教育を計画し、主体的な進路選択に向けた支援を行う。	各学年の段階に応じたガイダンスや講演会を、計画的に実施できたか。	A	6月の信毎ガイダンスを2,3年に実施した。(参加者411名)1年は11月にガイダンスを実施予定。2年は2月にガイダンス実施予定。
①	就職希望者を主とし職業体験の場を提供し、生徒の職業理解を深めさせる。	看護体験や事業所見学の希望者に対し、事前に趣旨や意義を指導できたか。	A	看護体験は例年になく参加者が多かった(37名参加)。ステージ週間の講座を利用し3年生に適切な指導を進めることができた。
②	生徒の進路意識状況を定期的に把握し、適切な進路情報を提供しアドバイスする。	生徒の進路意識に見合った進路情報が提供し、進路相談を行なったか。	B	1年はclassiを有効活用しながらアンケートを含め有効活用できた。2,3年生は別のベネッセのシステムを有効活用している。
②	生徒の成績の把握・分析を行い、状況に見合う進路指導を行う。	「FINE SYSTEM」や「classi」を学習指導に役立てることができたか。	A	1,2年生を中心にclassiやスタディサプリの動画を宿題で取り組ませている。3年生はベネッセのシステムを利用し、推薦AO入試対策を進めている。
②	生徒の学習の場を保障することで、希望進路実現に向けた学力の向上を図る。	キャリアセンターやスタディホールの有効活用ができたか。	A	年度当初レイアウトの変更を進め利用しやすい環境を整備し始めた。受験及び進路資料についても整備を進めている。
③	研修会への参加及び校内での情報共有を行い職員間での共通理解を持つ。	情報収集及び情報発信を行うことができたか。	B	大学入学共通テストやイーポートフォリオについては状況が流動的であり、大学側も決めかねている状況である。今後も受験に不利にならないよう情報の収集に心がける。

3 生徒指導係

今年度の重点目標
① 制服を美しく着させる
② スマートフォンの利用ルール徹底
③ 自転車の安全運転を徹底させる
④ 駅構内・電車内のマナー向上
⑤ いじめの予防、早期発見、早期対応

※評価〔達成度〕 A：十分 B：おおむね良い C：不十分

重点目標	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題
①	シャツの第一ボタンまで締めさせる指導	シャツの第一ボタンを示させる指導を徹底できたか	B	ボタンを締めてネクタイを上げることが定着しつつあるが、まだ不十分に見える。 現在、生徒会校風委員会の活動（制服着こなし徹底週間）も実施中。日頃からの呼びかけが必要。
②	スマートフォンの利用ルールを理解させ、守らせる指導	他係と連携。利用ルールが守られていたか	B	放課までの間、スマホを手にしていない生徒はほとんど見られなくなったが… 再来週よりスマホルール確認週間実施予定。
③	生徒指導だよりや講話を利用した啓蒙活動 通学路自転車指導	運転マナーが向上したか	B	警察の講話や学校近くの危険個所での指導を実施。 交差点等ではまだ危ない運転が時折見られる。
④	生徒指導だよりによる啓蒙活動 列車乗車指導・駅見回り	乗車マナーが向上したか	B	全校集会での呼びかけ実施。 苦情は減っているが、今後列車内の巡視や通信、ポスター等による啓蒙活動を行う。
⑤	生徒指導だよりや講和による啓蒙活動 いじめアンケートの活用、他分掌との連携	いじめを未然に防げたか 適切な対応ができたか	A	いじめ防止対策委員会によるアンケートを実施。それを基に各クラス、学年中心に予防や早期発見に努めている。 今後もアンケートの継続と啓蒙活動を実施したい。

4 生徒会係

評価表

今年度の重点目標

- ① 生徒会本部役員のリーダーシップの下、全校が一丸となった学校づくりを進める。
- ② クラブ・クラス・委員会など様々な生徒集団の中で自立と自治の力をつけさせ、民主的な人格形成を目指す。
- ③ 他校、地域、保護者などに対して開かれた活動を生み出し、社会性を身につけさせる。

※評価〔達成度〕 A：十分 B：おおむね良い C：不十分

重点目標	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題
①	本部役員の企画力・行動力を育み、リーダー集団として成長させる。	予餞会・西高祭など各種行事を主催・運営することにより、自らの組織力や行動力を高められたか。	A	スケジュール管理の徹底で、限られた期間で概ね計画通りに進行できた。率先して仕事を探し、遂行する力をつけた。
①	太鼓の伝統を引き継ぐ。	太鼓の伝統的な指導を受け継ぎ、太鼓を通して団結力や精神面を鍛えられたか。	A	よりよい演奏を披露することを目標に、引継ぎ間際まで練習を重ね、団結できた。
②	委員会活動を活性化させる。	各委員会がそれぞれ活発に企画・運営し、生徒会の活性化を推進できたか。	A	新聞・放送委員会を筆頭に、独自の活動がより活発になってきた。
②	話し合いを通して、協力体制をつくる力を身につけさせる。	生徒総会や各行事の企画・立案などを通して、討議・実践・総括のプロセスを身につけられたか。	A	議会と同様の議事進行を目指して総会の持ち方を工夫した。課題を残しつつも、活気あふれる議論が展開された。
②	集団指導体制を通して豊かな資質を育む。	各行事を通して、学年・クラスを越えた生徒・教員の交流を図り、豊かな人間性を身につけられたか。	B	リーダー研修会は、文化祭に向けたリーダー集団の育成に特化した。全校に及ぶ交流を意識したい。
③	他校や地域との交流を深める。	他校との交流や地域的な活動を通して、他から学ぶ力や社会性を豊かにすることができたか。	A	文化祭ガイダンス、緑のフェスティバルに参加予定。被災地に向けた募金活動を実施。

5 防災整美係

今年度の重点目標

①	管理箇所の点検や防災の推進を図る。
②	年間を通して校舎内外の整美と美化に務める。
③	全校生徒、職員による清掃活動を徹底する。
④	学習環境や地球環境の保護意識を高める

※評価（達成度） A:十分 B:おおむねよい C:不十分

重点目標	評価項目	評価の観点
①	分担箇所の管理	破損箇所の発見・修理箇所の点検・管理箇所の安全確保
①	防災意識の啓発とそなえ	生徒の防災に対する意識の啓発と、迅速な防災訓練の実施
②③	通学路清掃の推進	各クラスで積極的かつ活発な清掃活動を実施（整美委員会が中心になって行う）
③④	ゴミ分別の徹底	ゴミ分別が環境に与える影響を理解させ、身近な学習環境から大きく地球環境までを保護する意識を育成・職員の分別作業への参画

重点目標	評価項目	評価の観点	中間評価	実施事項と今後の課題
①	分担箇所の管理	破損箇所の発見・修理箇所の点検・管理箇所の安全確保。	A	修理をしている。老朽化がしている部分がある。
①	防災意識の啓発とそなえ	生徒の防災に対する意識の啓発と、迅速な防災訓練の実施。	A	避難訓練を実施した。 上田中央消防署より、防災について講演をしていただいた。
② ③	通学路清掃の推進	各クラスで積極的かつ活発な清掃活動を実施（整美委員会が中心になって行う）。	A	クラスごと輪番で毎週実施している。
③ ④	ゴミ分別の徹底	ゴミ分別が環境に与える影響を理解させ、身近な学習環境から大きく地球環境までを保護する意識を育成・職員の分別作業への参画。	B	分別がまだできていない部分がある。

平成 30 年 11 月 30 日

○生徒による授業評価アンケート

実施方法

- ・ 1 学期の最終授業において、すべての授業において、生徒へアンケートを実施
- ・ 生徒の授業に対する満足度（別表「各教科毎の満足度」）に重点を置き、各教科で話し合い改善策を検討。
- ・ 満足度は、大変満足を 4 点、やや満足を 3 点、やや不満を 2 点、大変不満を 1 点とした時の平均点です。

各教科の満足度

教科	満足度	教科	満足度
国語科	1 年：3. 7 (昨年度 3. 6) 2 年：3. 7 (昨年度 3. 6) 3 年：3. 8 (昨年度 3. 6)	体育科	1 年：3. 5 (昨年度 3. 4) 2 年：3. 5 (昨年度 3. 5) 3 年：3. 5 (昨年度 3. 6)
地歴公民科	1 年：3. 5 (昨年度 3. 4) 2 年：3. 6 (昨年度 3. 6) 3 年：3. 6 (昨年度 3. 4)	保健科	1 年：3. 4 (昨年度 3. 1) 2 年：2. 8 (昨年度 2. 9)
数学科	1 年：3. 6 (昨年度 3. 3) 2 年：3. 6 (昨年度 3. 5) 3 年：3. 7 (昨年度 3. 7)	家庭科	2 年：3. 5 (昨年度 3. 5) 3 年：3. 8 (昨年度 3. 8)
理科	1 年：3. 2 (昨年度 3. 3) 2 年：3. 5 (昨年度 3. 3) 3 年：3. 5 (昨年度 3. 4)	芸術科	1 年：3. 9 (昨年度 3. 4) 2 年：3. 7 (昨年度 3. 5) 3 年：3. 8 (昨年度 3. 6)
英語科	1 年：3. 2 (昨年度 3. 4) 2 年：3. 8 (昨年度 3. 4) 3 年：3. 7 (昨年度 3. 4)	情報科	1 年：3. 2 (昨年度 3. 3) 2 年：3. 3 (昨年度 3. 4) 3 年：3. 5 (昨年度 3. 5)